

住道みらいデザイン会議レポート

住道みらいデザイン会議 シンポジウム

日時 2026年2月9日(月) 18:00-20:00

場所 ポップタウン住道 オペラパーク1階 プラザフェスタ

講師 西村 浩さん

講演タイトル 縮退時代を楽しむための、新しいまちづくり実践論

ポップタウン住道オペラパークにて、「住道みらいデザイン会議 シンポジウム」を開催しました。本イベントは、住道エリアのこれからのまちづくりの方向性を共有し、市民とともに住道のこれからについて考える場として設けたものです。

前半では住道の歴史的背景や現状のデータを報告し、策定を進めてきた「住道駅周辺エリア未来ビジョン」に描かれるビジョンや取り組み等の具体的な内容について発表しました。

続く後半では、全国でエリアリノベーションを手掛ける建築家の西村浩さんにより基調講演を実施。西村さんは、人口減少時代においては昔のような右肩上がりの活性化を求めるのではなく、自分たちが幸せに暮らせるまちを自らつくりだす「やる人」になることが不可欠だと語りました。また、広範囲を一度に変えるのではなく、狭いエリアに人を集めて熱量を高め、周辺へ波及させる手法の有効性について解説いただきました。

最後のトークセッションでは、実践者のビジョンへの思いや、次世代の子どもたちに楽しそうに活動する大人の背中を見せる意義が語られました。全体を通して、アイデアをアイデアのまま終わらせず「住道駅周辺エリアプラットフォーム」を活用しながら、市民一人ひとりが実行に移すことの重要性が共有される時間となりました。

